

「日・アフリカ官民インフラ会議」  
「質の高いインフラ投資」の推進のためのリーダーズステイトメント

TICADVIの開催を踏まえて、2016年8月26日及び27日、ケニア共和国ナイロビにおいて、TICADVIの公式サイドイベントとして開催された「日・アフリカ官民インフラ会議」に出席した日本及びケニアをはじめとするアフリカ各国のインフラを担当するリーダーは、「質の高いインフラ投資」の推進のため、以下の項目を確認する。

1. アフリカの、強固で、持続可能な、かつ、均衡ある成長を促進し、社会における強靱性を向上させるためには、「質の高いインフラ投資」によってインフラ投資の需給ギャップを埋めるよう一貫して取り組むことが重要であるという認識を共有する。
2. アフリカにおける「質の高いインフラ投資」を推進するためには、以下の原則に則ることが重要であるという認識を共有する。
  - (1) 開発ニーズに応じて、ライフサイクルコストが安く、信頼性の高い運用、安全性、強靱性、持続可能性を備えたインフラを整備するものであること。
  - (2) インフラ投資が、国民に対する雇用創出、技術移転、能力強化を促すものであること。
3. 日本及びケニアをはじめとするアフリカ各国のインフラを担当するリーダーは、アフリカにおける「質の高いインフラ投資」の実現を目指して、インフラ投資が2. の原則に則ったものとなるよう、民間企業のかも活かしつつ、共通の理解のもと、協力を進める。また、民間企業の役割を十分理解し、ビジネス環境改善に努める。
4. 他のアフリカ各国との間でも1. 及び2. の認識を共有するため、同会議のような官民インフラ会議の開催等の取組を拡大するとともに、次回のTICAD開催時にも、同様の会議を開催することができるよう、協力を進める。